

職業講話・体験学習

「働くとは」を考える貴重な体験

☆二年生は、「働く」とはどのようなことなのか学ぶために、10月31日・11月1日の二日間を使い、興味のある職業について講話をいただいたり職場体験学習を行いました。いくつもの講話から「働く」とは何なのか、自分たちが学んできたことをまとめました。

保育士

私たちは、子どもと遊ぶことが好きということと、どのような仕事をしているのか気になったので、地域にある「ひまわり保育園」で、体験活動とお話をいただきました。

まず、保育園では古川もと子先生にお話を聞きました。

保育士さんにとってのやりがいは、「子供たちの成長に携わることができるから」でした。

その中でも大変なことは、「保護者などの色々な人と関わる必要がある」というのと、「不得意こともやらなくてはならないので、たくさんのかんがえなくてはいけない」ということでした。

- ・保育（お世話）をするに当たって大切にしていることは、安全第
- ・一人ひとりを大事にする



- ・いつでも平常心で、明るく笑顔でいること
- ・子供たちの目線で話をすること
- ・小さい子などは、言葉が伝わりづらいので、年齢に応じて、伝え方を変えたりすること

くさんのことを大切にされています。保育園では、園児と一緒に遊んだり、遊戯練習の見学をしました。園児と一緒に遊んでみて、最初はあまり近寄ってきませんでしたが、自分から声をかけると園児のみんなが近づいてきて一緒に遊ぶことができました。実際に遊んでみて、凄く楽しかったけど、すごく大変でした。

ペットショップ店員

私は動物に関わるのが好きで、将来の夢はペットショップ店員になることです。そこで、一番興味のあるこの職業について今回お話を聞こうと思いました。

ペットショップ店員の仕事について、市川タ子さんから大きく二つのことをお話を聞きました。

一つ目は、動物愛護法に関することでした。

まず、犬猫の背中に入れられるマイクロチップです。注射器で入れるような小さいものに飼い主の住所、電話番号などの情報が入っています。これは今年の6月から義務になったそうです。



次に、犬猫の展示時間についてです。6時間以上同じ状態にしているといけないため、市川さんの会社では、30分前には電気も消しシャッターも閉めるそうです。

最後に、展示用ケージの大きさです。横の長さは、頭からしっぽまでの3倍の大きさ、高さは5倍なくてはならない

パティシエ

私はお菓子作りに興味があるので、パティシエの体験を通してお菓子の凄さや魅力について学びたいと思ったからです。

まず体験では、クッキーの袋詰めや、袋の密閉、シール貼りを体験しました。私は、



お菓子の梱包をしたことがなかったもので、パティシエの方に教えていただきながら作業をするのができました。特に、ハンドラベラーを使い慣れるのが難しかったです。

講話の中では、パティシエをすることで表現力の勉強にもなったり、どうしてこれを混ぜたらこうなるのかなど、科学的な分野にも繋がっていることも教えていただきました。体験と講話を通して、沢山の人の積み重ねが大事なのではないかと考えました。

講話の中では、パティシエをすることで表現力の勉強にもなったり、どうしてこれを混ぜたらこうなるのかなど、科学的な分野にも繋がっていることも教えていただきました。体験と講話を通して、沢山の人の積み重ねが大事なのではないかと考えました。



小学校養護教諭

私は人との関わりが多い職業に就きたいので、関わりの多いこのふたつの職業について学習したいと思いました。

その中で、養護教諭については、本別中央小学校の寺田祐加先生にお世話になりました。



論は怪我の手当てをするだけでなく、健康診断や健康相談、また日常生活での相談を生徒から受けていることが分かりました。相談を受ける際は、しっかりと最後まで話を聞くことが大切であることも教えていただきました。

この講話体験学習を通して、私は養護教諭は生徒の心の「拠（よ）り所」であり、学校にいないとはいえない存在なのだと改めて実感しました。